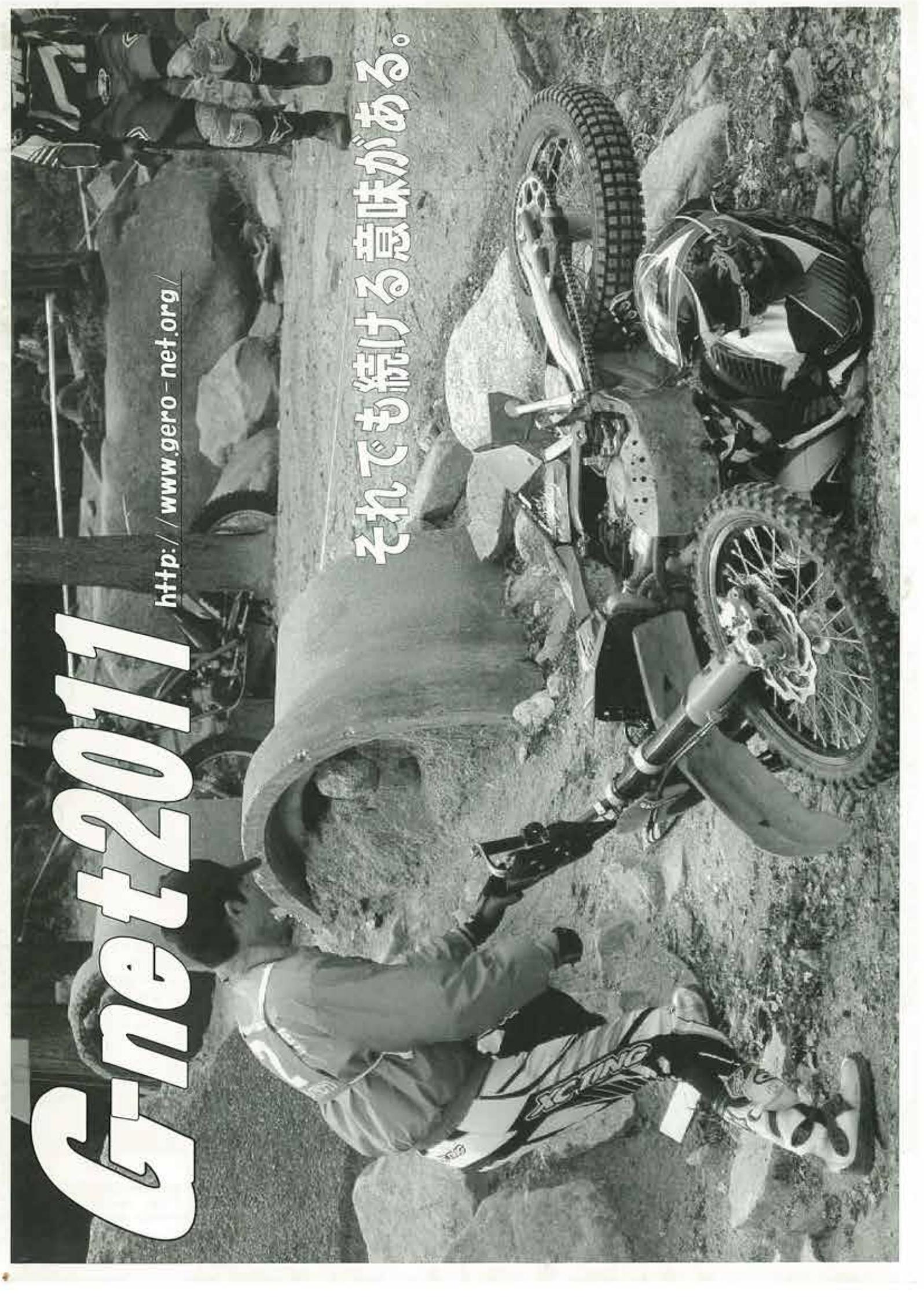


G-net2011

<http://www.gero-net.org/>

それでも続ける意味がある。





For your quality of motorcycle life.



さらに質の高いバイクライフを

大自然を相手に、サーキットを舞台に、五感のすべてを動員し、思いっきり身体を使って、重力とたわむれる。しかもビギナーからベテランまで、性別も、年齢、国籍も関係なく、そこにいる誰もが一緒に楽しめる、そして仲間になれる！オフロードバイクほど素晴らしいスポーツはありません。リアルエキップは、トライアル、エンデューロ、スーパーモタードのコンペティションを通じて真摯にオフロードバイクと向き合ってきました。そこで培われた知識、技術、経験を、すべてのオフロードライダーのために役立てたいと考えています。みなさんが、さらに質の高いオフロードバイクライフを楽しめるように。リアルエキップがお手伝いします



2012年は、JNCCとリアルワンを中心に、主要なイベント会場で、リアルエキップサービスステーション(RSS)を展開します。レースが初めて、まだ経験が浅い、また単独でエントリーした、トランポが無く自走でやってきた。そんなライダーも、ぜひRSSにお立ち寄りください。体験だけでなく、基本的な工具のご利用や、ちょっとしたスペアパーツの販売だけではなく、メカニックの知識や、レースを楽しむためのノウハウも、経験豊富なリアルエキップのスタッフがアドバイスさせていただきます。ぜひお気軽にお立ち寄りください



リアルエキップのコンプリートマシンは、そのマシンが本来持っている性能を100%楽しんでいただけるよう、完全なセットアップでお届けします。また、もうちょっと足つきを良くしたい、もう少しソフトな乗り心地にしたい、あるいはモトクロスコースをハードに攻められるマシンにしたい、というようなご要望にもオーダーメイド感覚でお応えします。自分のフィールド、自分の乗り方にあわせてカスタマイズ。より楽しいバイクライフを送っていただくためにリアルエキップがお手伝いします

リアルエキップ 検索 www.realequip.com



リアルエキップ 静岡県浜松市東区笠井町1538-1 TEL.053-431-5006 Fax.053-431-5010 E-mail: info@realequip.com

MCF MotorCycle FORCE

Social Contribution on a motorcycle



代表:尾仲敦志

道なき道を走破するモータースポーツ「ENDURO」その力を社会のために...
モーターサイクルフォースはモータースポーツの継続・発展が社会に利益をもたらせるよう提案していく任意団体です。

所在地 〒652-0041 兵庫県神戸市兵庫区湊川町1-7-13 美和ロックサービス代行店かぎテック内
TEL078-579-8469 FAX078-579-8470

営業時間 9:00~19:00
休業日 日曜・祝日・休日 <http://www.motorcycleforce.net/>

2011年3月11日。そこでは、誰もが目を覆いたくなるような、悲惨な、甚大な被害が起きました。東北大震災。被災者の支援を行いたいけれども、どう手伝うのかわからない、支援物資をどこに送るのかわからない。そんな中、ED界でも自らボランティア団体を立ち上げ、精力的に活動をしている方がいます。関西のED界を取り仕切るKGB(カンサイグロブブラック)「総帥」の尾仲氏。今回は団体の活動等についてインタビューを行いました。なお、同団体は現在も支援活動を続けており、皆様からの支援協力をお待ちしております。詳しくはHPをご覧ください。

■質問1. 設立の経緯について
昔から思っていた事なんです、なぜエンデューロはみんな知らないんだろう。モトクロスやトライアルは知っている人が多いのになぜ? というところから始まります。今のエンデューロはエンタラントを増やすばかりを考えているように感じています。個人的には観客を増やす方向をもっと考えていった方がいいのではないかと考えています。どうしたら観客に来てくれるのだろうか?と考えた答えが、まず知ってもらわなければならない。そして2年ほど前にもっと社会に認知してもらいたいという構造を作れば自然に耳にエンデューロという単語が入ってくるのではないかと考えました。

そこで考えたのが、災害支援活動・地域活性・教育という3つの社会活動でした。いろいろ構想を練っているうちにこの度の東日本大震災が起こってしまい、災害支援活動のみというカタチで活動を開始しました。

■質問2. 運営状況について
運営状況の現状は、プラザ阪下を関西でのメイン支援物資置場としてご協力いただき、協力店としてMTXR様をはじめとする数店舗のバイクショップ様に募金箱を設置していただいております。支援物資を現地に届けるペースは昨年でおおよそ2ヶ月に一回で活動させていただきました。物資を運ぶ前に現地のライダー(主に和泉拓さん)に今必要な物を伺い、HPやmixi、ツイッターなどで呼びかけ、回収し現地に運びます。これからは災害支援活動ばかりではなく他の項目の事もいろいろの協力を得ながら実行しなければと考えています。活動費に関しては皆様からいただく支援金で活動させていただいております。

■質問3. 被災者と直接接しての感想
大変な目に遭っているにもかかわらず、みなさんいつも笑顔で元気なんです。かえってこっちが元気もらうくらいに。生きようとする強いエネルギーをすごく感じました。この何も無いこの土地を蘇らせようとする前向きな人たちがばかりでした。阪神大震災の時もそうでしたが、(私、経験しております。この時も毎週炊き出しに後輩を連れて行ってました。)こんなにむちゃくちゃになってんの元に戻るんかいな! って思っていました。やはりその時もみんな前向きで生きようとする強いエネルギーがあったんですね。当時は若かったのもそのままで感じられませんでした。炊き出しの評判のみが気になっていました。ダメですね。。。被災して暫くは物資の支援がとて必要なのですが、物はすぐに行き渡り最初に問題なくなっていくと思うんですね。問題はその後で、物欲が満たされると今度は精神的なところが満たされていない事に気が付いてくると思うんですよ。阪神大震災の時もそうでしたから。その時にライダーとして何かできる事はなかなあと被災者と向き合いつつも考えています。

■質問4. 家族はこの活動についてどう思っていますか。
実は知らない。。。なぜか一切話さずに隠密行動w
本業への影響は全くなし。ただ起業家養成スクールのようなところから講演の依頼が少々あったくらいでしょうか。

ありがとうございました。G-NETは、今後もモーターサイクルフォースを応援します。



僕も、G-netを応援します。

「日本のマスコミ、雑誌社は、激しいレースをもっと取り上げるべきだと思いますよ。それだけのリスクを背負ってやっていますし、世の中に広めないと盛り上がりません。皆さんも僕と一緒に、日本のEDシーンをもっと盛り上げていきましょう。」

田中太一

ROOTS ENTERTAINMENT

【タイチブログ!!】<http://ameblo.jp/roots-taichi/>

「Erzbergrodeo」レッドブルヘアスクランブル

・2010年13位 ・2011年9位 ・2012年は優勝!?

KING OF GERO 2011

藤田 貴敏 44歳



言わずと知れた、西日本のトップライダー「塾長」。2008年ISDEギリシャ大会日本代表メンバー、2010年度JEC年間総合第4位。ハード系EDでは、国内では右に出る者がいない超猛者デス。その見事なまでの開けっぷり、かつ、困難なセクションでは意外に繊細なアクセルワークで、難コースを次々に攻略します。

今年はJEC等の表彰台は休憩。西日本エリア戦の運営等、裏方に徹するとのこと。「本当ですか〜」という声が飛び交う中、早くも御所オートランドにて「G-COMPACT」なるイベントも企画。結局、今年も忙しい年になりそうですね、塾長。西日本EDの牽引役、頼みますよ〜!

- ・チーム名 疾風怒濤 & 24service
- ・マシン名 HUSABERG TE250
- ・スポンサー フサベルジャパン、24service、SHOEI、日本ミシュラン、MOTUL、MTXR、Vchips、JERRY'S、JAPEX、ロッキースポーツ、モトスペースEA、名島亭、EKチェーン
- ・ブログ [日々精進] <http://jukuchou.at.webry.info/>
- ・今年の抱負 今年は隠居!
- ・G-NET戦の感想:どのレースも走り応えのあるレースでした。走破力だけでなく、マシンを壊さない安定した走りも重要でした。勿論、移動区間の速さも必要になってきます。「G-NET」から、次世代の最強・最速のライダーが出てくることを期待しています。



G2 ちばてつ 「俺は絶対にハマらないよ」

レース前に声を掛けると、決まってこう答えます。一昨年の「撒ヤチ祭り」となったCGCでも、公約どおり一度もハマることなく2位入賞。言葉を裏付けるその実力、ホンモノです。関東を代表するGEROライダーですから、G2位の結果も、当然なことです。

今年は「ISDEドイツ大会」へ出場します。

その意気込みを訊きますと、「いまさら練習しても速くならないよ。俺は、俺の走りのまま行くよ。どこまでも、その走りを買って下さい。」



G3 雁津 「ハマる時はハマるさ」

いつもこんな適当なことばかり言ってるせいで、一向に成績が安定しません。いい加減に、出たとこ勝負は卒業しなさい。そんな雁津さん、今年はなんと

「エルズベルグ ロデオ」へ出場します。

大騒ぎした挙げ句、予選でオチるのか、エルズのカレ場に散るのか。雁津さん、一世代の大勝負、です。



G4 ライダー、本間 徹。

「私は、そんなタイソウなライダーじゃありませんから」
 会うと、いつも謙虚に振る舞う本間さん。
 チーム名が、関西YZ秘密倶楽部定年組。チーム名まで謙虚にしないでいいのに、ですね。
 2011年第1戦「山走り」大会中、ある大物ライダーが足を骨折する怪我を負いました。本間さんはその時、予選をオールクリア!本戦の「エナジークロス」を控えていました。しかし、一緒に来ていた仲間が怪我をしたことを聞き、迷うことなく後片付けを始め、決勝を欠場。その方を自宅へ送り届けたのでした。
 「決勝まで残っていたのに、残念ですね」「仲間が怪我をしたんで、当然です」。当たり前のように答えて会場を後にした本間さん。当たり前と言えそうですが、当たり前のことって、今時なかなかできませんよね。
 私は、当たり前のように会場を後にする本間さんの後ろ姿が、忘れられません。
 本間さん、あなたこそ真のライダーです。どうか2012年も輝いて下さい。



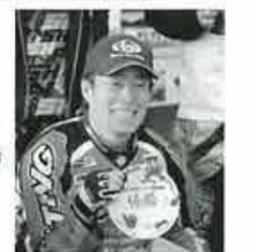
G5 明石 亨 この男、要注意。

一見、人が良さそうなのにちゃんに見えますが、この男は要注意です。荒れ荒れのレースは滅法強し!あの伝説のレース「Gosho-IMPACT」では、タイチ、タイスケ、塾長のニックネームに続く第4位、という驚異のリザルト。頭の中からつま先まで、中身はまさにGERO!
 しかし2012年、レース活動もっと真剣にやって下さいよ。5Dさん、ヨロクシお願いします。



G5 ロツシ 目指す先は、太一。

「トライアル国際A級」の看板を掲げて挑んだだけに、適当なリザルトでは納得しません。2011は、CGCシリーズ戦でV2を達成。しかも池の平では2位に2周差をつける、驚異の走破力を見せつけました。これだけスゴイのに、チームはなんとエンジョイズ。いくらお金を積まれたんでしょか。
 ロツシさん、あとはいつ太一と戦うの?



【2012G-net SERIES】

🌞 R1 3/11 山走り大会
 山口県下関市 フィールド幸楽
<http://www.trial-kouraku.com/>

🌞 R2 5/27
 超特番!サバイバルIN広島
 広島県甲田町 テージャスランチ特設会場
 主催 SP忠男広島
<http://www.sptadao.jp/>

🌞 R3 11/18
 池の平ゲロゲロさわやかED
 愛知県 池の平ワンダーランド
 主催 アドベンチャー
<http://www.enduro.co.jp/>

📌 重要 どうとう来年かも
 Gosho-IMPACT「御所の陣」
 熊本県 御所オートランド
 主催 24サービス
<http://www7.ocn.ne.jp/~gosho/>

1250DUXE
 125EXC SIXDAYS
 試乗車あります!

軽い! 99.5kg
 低い! 895mm

これは絶対面白い! 2012年、日本上陸!

ダートバイクZIM 7806-0046 福岡県北九州市八幡西区森下町26-60
 OPEN 10:00-20:00 / CLOSE 日曜日
 Tel/Fax: 093-643-6888
www.dirtbike-zim.com

山走り

2011G-NET SERIES ROUND 1 「山走り大会」

■日時 平成23年2月27日
■場所 山口県下関市 フィールド幸楽トライアルパーク
■主催 フィールド幸楽トライアルクラブ



「天空のロック」入り口です。ここまで来るのも一苦労。



この後どうなったか…。皆さんのご想像のとおりです。



そしてセクション「天空のロック」全開の押し、入ってま〜す。



エンジョイズ、幸楽にて玉砕



怪しいMC「落武者団」



全開アタック、超絶ヒル



成功例、うまい!



前転が怖い、でもセクションはクリアしたい



登頂までもうちょっとの所で、よくなります



下りの基本姿勢



失敗例、岩の上は滑りますよ。



レッドブルエナジ〜を注入して〜 =>



「エナジークロス」開始!



【リザルト】 エキスパート上位6名

優勝	藤田 貴敏
2位	ちばてつ
3位	坂井 裕輔
4位	重村 季司
5位	菅沼 賢治
6位	寺下 正夫



○進化する「山走り」
EDでもなく、TRでもなく、林ツードもない、そう「山走り」なのデス。昨年の初開催では、地図で20のセクションを探しながら巡るオリエンテーリング風の大会でした。この草ED的なユルユル感が、非常に好感を呼びました。ただ、オブザーバーのない自己採点であった為、勝敗の曖昧さは否めない部分があったのですが…
そこで今年は競技性も重視。心機一転し20sec全てにオブザーバーを配置、真剣にオールクリアを目指してもらって大会へと進化したのでした。又、当初からの「山走り」理念は全く揺るぎません。あくまで徹底的に走破力を競ってもらおうじゃないですか。ですから、新ルールも単純明快。採点は○×方式で、セクション内で足を着くのが、バイクを押そうが、転倒しようが、オッケーOK牧場(古っ)。とにかく1分以内にセクションアウトすれば「○」、ダメなら「×」なのです。そして「○」が20こ揃えば、あなたもオールクリアのファイナリスト! 見事、決勝のドリーム戦に進出デス。
今回の参加者は「エキスパート」クラス48名、「ノーマル」クラス22名、トライアル車5名の計75名。中には「ED」は数居が高いけど、こんな大会なら…と、素晴らしい気持ちでエントリーをされた方も! その気持ちに答えるべく、今回のセクションも多彩に揃えていますよ。7sec超絶ヒル、10secハッピーヒル、20secデルタヒルという名物ヒルや、沢、藪、ヤチsecと豪華メニューが盛りだくさん。そして更に山遊びしてもらおうと、タイム設定無し9sec「爽やかな沢」と、広大な敷地を生かした素晴らしい楽しみなセクションばかり。参加者の皆さん、贅沢な4時間をたっぷり御堪能下さい。

○陥落「天空のロック」
これまで、その姿を現すことがなかった大岩「天空のロック」。山頂付近にそびえ立つその巨石群は、その場所と続く道が無い為、これまでTRのセクションにすら使えず、日の目を見ることはありませんでした。しかし、今回看板となるセクションが欲しい。又、遠く関東からも来場される皆様へ、できる限りの「もてなし」を、という気持ちが今回の開城へと繋がったのでした。同時に取付道路にも整備、選手を天空へと容易に導くヤブ道が出来上がりました。さあ、あとは直下のセクションにてモガキ苦しんで頂きましょうか。
しかし、やってみると以外に完走率の高いこと。なんと、エキスパートクラスの60%が完走、予想を遙かに上回る結果でした。天空のロック、陥落、皆様の走破力にはホント、舌を巻きました。
ただ、これだけの猛者が集まった大会ですから「どんだけオールクリアが出るの」と心配してましたと、結果は意外と少数でした。走破目前で集中力を切らした方が多いようですね、ホント残念。その「○」を1個逃した方は、全体のなんと37%、ホントに惜しい。オールクリアとは、それだけ価値のあるものです。
私が感じたことは「EDライダーは、あまり下見をしない」こと。面倒なのか、そのまま勢いでセクションインしているのか判りませんが、とにかくマーカー見落としの「×」が多かった。TRは下見が命、自分でイメージしたラインをイメージ通りに走る「下見力」がモノを言うのです。マーカー確認の意味もありますので、是非「下見力」を身につけて下さい。

○ファイナルステージ「エナジークロス」
そして、ファイナルステージに集いし猛者達は、エキスパートクラスの9名とノーマルクラスの5名、以上がオールクリアの完走者です。それでは始めましょうか、決勝ラウンド! 誰が一番山走りに優れているのか、白黒つけてもらおうじゃないですか。スポンサーのレッドブルガールもスタート位置に配置。各ライダーは、マシンをスターティングマシン(タダノ丸太)にセット、レッドブルガールよりエナジー(Redbull)を注入(一気飲み)され、緊張の中スタートを待ちます。コースは人工セクションではなく、容赦のないガレ場、ロック、ウツスの急斜面と、とても競い合うコースには見えません。ここを誰よりも速く3周した者が優勝、というレースがエナジークロスなのデス。
まずはトライアル車クラスの2名、宇都さんと近藤さん。デモ走行を兼ねたエキシビジョンマッチですが、競技中は超真剣。ハンドルが接触しそうな競り合いの結果、宇都さんの勝ち。続きましてノーマルクラスの決勝。出場マシンはXR230、セロー、ジェベル等、決してポテンシャルの高くないマシンもありますが、そんなこと言っている場合ではありません。勢いよく丸太を越えるジェベル、その大きくりやが跳ね上がり前転しそうな走りは、観客の方が心配していました。優勝はそんなジェベルライダー、チームブラックメンの益原猛選手。2位はセロー高田郁弥選手。3位はXR230泉裕貴選手。

そしてエキスパート決勝、トライアルIAの坂井裕輔選手GAS-EC250F、チバテツ選手KTM125EXC埼玉、「塾長」藤田貴敏選手フサベル250福岡、「すばあセロー」寺下正夫選手セロー225兵庫、地元九重村考司選手KT M300XCW山口、菅沼賢治選手CRF230愛知という、腕に覚えのある顔ぶればかり。セミファイナルに続き、2本目の「エナジー」を注入後、いよいよ決勝スタートです。
まず勢いよくスタートを切ったのは、菅沼選手。空冷230と非力ながら、決死の飛び降りて一気に差を開きます。しかし後方から忍びよる腹黒い陰が…塾長藤田選手とチバテツ選手、菅沼選手をパスし、一進一退の競り合いが続きます。そして、この走破力ヨコズナ勝負を制したのは、「塾長」藤田選手! 新型フサベルでの初勝利、おめでとうございます。しかし、両腕に乳酸をいっぱいため込みつつの3周、本当に辛かったそうです。
という訳で、大盛況に終わりましたG-NET第1戦「山走り大会」。次回開催時は、更に進化した姿をお見せすることができるといって、ご期待! G-NET第2戦はテージャスランチ開催「特別編サバイバルIN広島」。ただ開催日程が震災の影響で変更します。SP忠男のHPhttp://www.sptadao.jp/. G-NETのHPhttp://www.gero-net.org/を確認し、是非エントリー、そして玉砕!

2011G-NET SERIES ROUND II

■開催日時 平成23年5月29日(日)
■開催場所 広島県甲田町
テージャスランチ特設会場

トレールエンデュロ+G-NET in テージャスランチ



テージャス山を背に、恒例の横一列スタート。決して、キャベツ畑の中ではありません。



まあ、ちょっと落ち着いて。穏便に話し合えば...



15年続けてきたトレール戦、今回でとうとう最後となりました。杉野「おとーさん、おかーさん」本当にお疲れ様でした!



ホールショットは5D前田っ!



スタート直後、早くも地獄絵図が...



がんばれ東日本!

このレースの感動を、どう伝えるべきでしょうか。梅雨入り直後、しかも猛烈な台風2号が接近する土砂降りのテージャス。十数年に一度の強烈なマディレースとなりました。今回のエントラントは、間違いなく歴史の生き証人となることでしょう。参加された選手や、スタッフの皆さん、ホントにお疲れ様でした。それでは、ここで起きた凄惨な出来事について、紹介させていただきます。

●「歴史あるレース」の幕引き

広島県北東部に位置する、広大な牧場「テージャスランチ」。今やJNC C定番のコースであり、全国的に有名となったこの牧場を舞台に、15年ほど前からED大会を始めたのが、「SP忠男広島」オーナー杉野和夫氏。ロードレースからMXまでもこなすオーナーが、あえてED大会の開催を始めたのです。以来、多彩なコースレイアウトで人気を博すシリーズ戦「トレールエンデュロ」の開催を続けてきました。そのトレール戦も今回が最後、中国地区ED界を牽引してきた歴史に幕を閉じることとなったのです。事情は様々あるでしょうが、最大の理由は「スタッフの高齢化」とのこと。杉野さんも御年60歳、他のスタッフもそれなりに年齢を重ねています。これだけ広大なスケールでのコース作りは、かなりの労力になるはず。それを全てボランティアで続けてきた訳ですから、本当に頭が下がります。スタッフの皆様、長い間お疲れ様でした。

ですから今回は、その集大成というべき大会、という訳です。無論、これまでの怨念がたっぷりこもってます。はっきり言って、今回のコーステープは厳しいどころではありませんでした。まさに「やりたい放題!」。キャンパーも厳しい、助走も厳しい、そんな状態からのヒルクライム、沢、ヤチ、そして沼。さらにあの大雨ですから、下見をした選手は「目標、一周...」と力なくつぶやくだけでした。

●九つの畏

杉野さんも、コースについてこう語っていました「ちょっと難しくやりすぎたかも...」。これまで数々の過酷すぎるセクションも「問題ないよ」と切り捨ててきた主催者、それが今回は「難しい」と言っているのではないですか。しかも、何やら九つほど畏を仕掛けた、とのこと。しかし実際コースを走ってみると、畏は九つどころじゃないですよ!そこらじゅうが畏だらけ、「やりたい放題」はホントのこのことです。

レースの強烈さは、スタート直後から始まりました。テージャス恒例の横一列、全車一斉スタート。両空にひらめくスタートフラッグを合図に、第一コーナーへと滑り込んだその先には、いきなり角度のある二段ステアが...。そこに全車が雪崩れ込むのですから、それはそれはタイヘンなことになるはずですよ!宙に舞い、登ってきた方向へと転落してゆくマシン、止まったままの全開により湯気が立ちこめて、ラジエーターが悪臭を上げるマシン、開始早々「まさにG-NET!」という状況が繰り広げられたのでした。



◎2011GERO大賞はこの方です。しかし、この御方は一体誰でしょう? 豪華粗品を用意しております。事務局までご連絡下さい。



こちらは、ラインがここだけ!



その気持ち、メチャわかります(涙)



ラ、ラインが無い...



消火! 消火!



この位開けないと、登らないんです。

【リザルト】上位6名(完走9名、完走率8%)

優勝	明石 享	KTM 5D	疾風怒涛
2位	河津 浩二	YZZ50F	疾風怒涛24Service
3位	藤田 貴敏	77x6TE250	バイクースベア
4位	熊本 順治	YZZ50F	バイクースベア
5位	熊本 悠太	YZZ50F	バイクースベア
6位	本間 徹	YZZ50	YZ秘密倶楽部定年部

優勝の明石君、コースが荒れまくった超GEROレースはめっっぽ強し! 熊本さんは、親子での入賞、この激しいレースでなんなのでしょう。しかし悠太君、まだ父親を越えられなかったようです。

今回のホールショットは#3「5D」前田啓介選手。瞬発力のtmで刺すように第1コーナーへと進入、後続のマシンが大混乱となった戦場を尻目に、そのまま先頭を独走します。続くコースは、テージャス山の直登ライン。ガレた助走区間で振られながら、後半のヌルヌル赤土斜面をグリップさせるのは、容易ではありません。

ここで後続は完全にフルイにかけられ、トップグループは前田選手の他に、#65「5D」明石選手、#8「塾長」藤田選手、#81「助p」助野選手、#8「塾長」藤田選手。マディとは思えぬ速さで、その後の「泥の迷宮」へと突き進むのでした。

●死闘「泥の迷宮」

テージャスには、広大な牧草地とは裏腹に、山深いウッズ区間があります。この森から出る事ができなければ周回は不可能、まさに泥のラビリンス、なのです。最も凄惨な現場となったのは「全開ヒル」。晴れでもツルツルの場所ですから、大雨では最悪のコンディションになるのはあたり前。心理的に追いつめられたライダー達の全開登りに、徹が耐えきれずに全壊。トップグループの前田、明石選手はかろうじてパスできたものの、藤田、助野選手は深い辙に飲み込まれ、足どめをくらうことに。その後も30台近いライダーが全く登れない状況が続いた為、主催者判断で痛恨のコースカットとなったのでした。

これでレースの流れが変わったのか、その渋滞の列に巻き込まれて#8藤田が失速。#81助野も、その後マシントラブルで大幅にタイムロス。レースは後半となるにつれ、その激しさを増し、ライダーはさらにペースダウンを余技なくされたのでした。#2柳原選手、#9岸選手、#54重村選手も、上位を狙える位置で周回を続けていたものの、後半はコースが大荒れでペースダウン。最後はチェッカーに届かず、せつかく3周の周回ごと泥の海に沈んでしまいました。そして、今回も優勝を取り逃がしたのは、#3「5D」前田啓介選手。テージャスでの速さは抜群な「テージャスマスター」だけに、最終周までトップ争いを繰り広げていましたが、今回の強烈なマディで失速、なんと最終チェッカーに間に合わない事態となってしまったのでした。もったいない!

そんな中、存在感を示したのはMXIA#7荒川一佳選手。マディでも徹でも、セクションへのアタックでは何という開けっぶり! その勢いで速くの、を何度も押させて頂きました。又、渋滞で混乱したヒルを前に、小綺麗なハスクで、まさかのスタンディングで順番待ちしていたのはTRIAの#46ロッシ高橋選手。互いに好成績は残せませんでした、その異色なスタイルは、さすがその道のトップライダーたる姿、でした。

この凄惨な状況の中、淡々黙々とマシンを進ませ、価値ある優勝のチェッカーを受けたのは#65「5D」明石選手。G-IMPACT総合4位、今期MX選手権ではIBに昇格、テクニクもスピードも兼ね備えた、うらやましい限りの選手です。選手層の厚いTeam「5D」、G-NET最強のチームかもしれない。しかしこのチームも黙ってはいません。2位私め河津、3位「塾長」藤田選手のTeam「疾風怒涛」。互いに頭の中まで泥だらけ、西日本随一のチーム力で上位入賞です。しかし、もっとスゴイチームがいました。4位熊本順治選手、5位熊本悠太選手の「熊本さん親子チーム」。なんと親子で上位入賞、何やらレース中は息子から引き上げて貰ったそうですが...。しかし、素晴らしい!6位は兵庫から本間選手。優しい性格と確実な走破力で、今回も結果を残しました。以上、入賞した栄誉ある6名です。出場した74名のうち、無事チェッカーを受けたのは、わずかに9名。完走率は8.2%、大半の選手がコース上でタイムアウトとなる、トレール戦最終戦にふさわしい壮絶なレース結果となったのでした。

●「広サバ」永遠に不滅です

今回で長い歴史に幕を閉じた「サバイバルin広島」。しかしこんなスゴイレース、本当に終わっていないのでしょうか、その反響の大きさから、早くも次回復活の声が持ち上がっています。レース名は「特番サバイバル-G」。これまでのサバイバルの経験を生かし、特別なコースで生まれ変わるその、「G」としてそれは楽しみ、今からヨダレがとまりませんね。スギノさん、どどん完走率を下げて下さいよ〜。G-NETに関する詳しい内容は下記ウェブサイトまで、<http://www.gero-net.org/>

CGC



2011G-NET SERIES ROUND III

■開催日時 平成23年11月27日(日)
■開催場所 愛知県豊田市 池の平ワンダーランド

いけのたいらゲロゲロさわやかED



見事な投げ一本! #10藤原さん、ごちそうさまでした。



優勝は、ロッシ高橋! ブッチギリ



にしても、よく舞いますね



はい、こちらもゴチです。



恒例、3段ヒルの「待ち」です



タイヘンです、全日本チャンプが襲われています。



これは悲劇、かける言葉がありません。



3段ヒルだろうと、勝負しますよ



女性に人気(?)のレースなのでしょうか。又は、ただのコスプレ好き?



いいや、まだまだ、俺はやれるぞ!



かえるも、つらくない!



つらくない!



上がればオッケーです

【リザルト】 ラージヒル上位6名

1位	ロッシ	h27TE250
	with 177	with 177
2位	塾長藤田	74h ATE250
	疾風怒濤	e c250f
3位	後藤英樹	RT168
	足跡組	KTM-150X
4位	ちばてつ	疾風怒濤
	疾風怒濤	疾風怒濤
5位	青木信次	疾風怒濤
	疾風怒濤	疾風怒濤
6位	河津浩二	疾風怒濤
	疾風怒濤	疾風怒濤

●オドロキのエントリー
10月1日(土)午前0時、CGCウェブエントリー開始の時間です。今回の募集は、ノーマル100、ラージヒル50という枠数。「絶対出たい!」という積極的な方は、もちろんこのタイミングでマウスをクリック。「どうしようかな」まだ決めかねてる中途半端な方は……もうアウト!昨年に続き、今年もたった2日間でエントリー締め切っちゃいました。なんなのでしょう、この大盛況ぶりは、エントリー数も、勢い余って受けた総数、計175名。まず出場することがタイヘン、大人気のレースなのです。皆さん、ナニユエに、殺られるとわかっていながら出場するのでしょうか、ホント奇特な方が多いようです。

なお、今回よりレース名が「いけのたいらゲロゲロさわやかエンデューロ」と改名。理由について、名付け人「すうばあせーろの秘密とか」寺下氏の談。「さわやかなゲロって、いいですよえ……」。あなたこそ、さわやかにゲロって感じですよ。かくして、今年も中部ゲロチャンピオンシップ池の平、開幕です。

●酔う怪の前夜祭
会場はお山の山頂にありますから、夜の外気はもろん氷点下、朝は一面霜柱になります。しかし、寒かろうと何だろうと、夜のウタゲは欠かせません、CGC恒例「ナイト宴デューロ」。今年も、ミニスカサンの女性(?)3名と電飾男が、宴会中の各パドックを巡回、盛り上げてくれました。マーシャル参加のJECチャンプ、ユウタロウさんパドックも例外ではありません。チャン

プを取り囲んでの強引な記念写真、これもファンサービスですから我慢して下さいね。酔う怪サンタさん達、深夜に及ぶ排個お疲れ様でした。

●難所、そして難所
毎回、新作難所を次々に繰り出してくる池の平フルコース。これが又、人気の理由かもしれません。特に昨年の「ヤチ祭り」、強烈な右ストレートを頂きました。今回のコースも又、格別な出来映えではないでしょうか。コースは全体的に、ギャラリーの集中する前半コースへ、難所を集中させる親切設計。ゲロゲロクラス(旧ラージヒル)は、恒例「三段ヒル」からのスタート。その後、続々と難所が続きます。水分をいっぱい含んだ黒土壌で、すぐにラインが無くなりそうな所がとて素敵な「MCジャパンバレー」。又タタタ路面が見事に助走を阻む、悪夢の「VAAMヒル」。丸石混じりのマディにタイヤを取られ、登れない「ダートフリークヒル」。勝負ドコロは、「ファンテックの泉」でしょうか。水量の豊富な登りのヤチは、マシンを易しくマディで包み込んでくれます。超渋滞が予想される為、迂回路も用意されていますが、こちらはプラス3分必要な丸石ガレコース。石畳の上り坂「ベアーロック」を越えた後ですから、どちらのコースで苦しむのかは、ライダー次第ですね。

又、今年のさわやかクラス(旧ノーマルヒル)コースは、ゲロゲロクラスの逆走コース。難所を選けたやさしい設定です。エントリーフィーもリーズナブル、さわやかにゲロを楽しんで頂く為、よく工夫されました。

●走破力対決
レース4台つづのスタートですが、焦る必要はありません。直後の「三段ヒル」が、溶けた霜柱の水分でかなりスリッピーな状態となり、予想通りの大混乱。溝ジャンプに失敗したライダーは、速くも全身泥だらけになってしまいました。三段ヒルの混乱から難なく先頭に躍り出たのは、TRIAの#2ハスクTE250ロッシ高橋選手。恐るべしその走破力スタイル。滑る路面でも、リア加重のスタンディング、ステップワークで、確実にタイヤをトラクション。難所も難なくクリアしてしまいます。国際A級のTRテクだけに、田中太一を彷彿させるものがあります。主催者フジエさんも「彼しか行けないラインで切り抜けるから、見事だよ」と大絶賛。後方のライダーを大きく引き離して、周回を続けます。それを追うのは、第2グループ#4フサバTE250藤田貴敏、#14KTM150XCちばてつ、両選手。レースは中盤から、ダートフリークヒルが荒れ始めて大混乱。そんな中、淡々と周回を重ねる2人でしたが、単独周回を続けるロッシを追い上げることはできませんでした。

結局、突出した速さをキープし、単独9周トップでのチェッカーとなりました。ロッシ、6位までの周回数に2周もの大差をつけての勝利。ED界にTRテクをそのまま持ち込まれるのは、ホント困りものです。EDクロスの方にも、是非参加して欲しいですね。2位は#塾長藤田。「コースが荒れてたので、とにかくマシンを壊さないよう、完走狙いで」と大人のコメント。次回は、

ロッシ選手と共倒れる勢いで、逝って下さい。3位は#56ec250f後藤英樹選手。彼は、関西アクションエンデューロ等で主に活動するライダー。若干25歳。コースが荒れる中、終始第2グループに追いつき、見事完走するという快挙でした。有望な若手が現れましたね。4位は、後藤選手に一步及ばず#14ちばてつ選手。「俺は絶対にハマらない」との強気な発言、そのままの見事な走りでした。ISDEの練習にはなったのでしょうか。5位は#KTM150XC、デコボコフレンズの青木信次選手。ちばてつさんと同じく、さすがは関東のGEROトップライダーでした。6位は、ボロボロの走りでしたが、どうにか入賞には転がり込みました。#3YZ250F私め河津。以上、ゲロゲロクラス入賞結果でした。

今回は、G-NET最終戦でしたので、年間シリーズチャンプ「2011キングオブゲロ」も決定しました。九州の雄、暴強、塾長、ハカイダー……、様々なリングネームを持ち、話題の絶えないこの方、藤田貴敏選手。今期はJECランキングも自己最高の4位、45歳にしてノリに乗っている年でした。来期はJECの西日本エリア戦を牽引、オンタイムを盛り上げる活動に集中するようですが、まだまだGEROチャンプとして君臨を続けることでしょう。来期、彼の牙城を崩す選手は、果たして現れるのか、それでは、G-NET!http://www.gero-net.org/



全開ゲレンデのスタート、最高!



優勝は水上タイスケ



攻める「塾長」



林道もナメたらこうなります



もちろん、ヤチもあり!



入賞の面々より、豪華副賞にご注目!

「琴引」マウンテンED

平成23年10月9日(日)
島根県琴引フォレストパーク

G-NET番外編

◆開催の起源、経緯、いきさつ…

2004年までの15年に渡り、広島県の芸北美和スキー場のゲレンデと、その周辺の森を舞台に繰り広げられた「美和マウンテンED」。このレースを語り尽くす西日本のEDシーンは語れない、それほどの影響力をもったレースでした。略称は「MMER」。スタート直後の溝越えでまず撃沈、続いてゲレンデの打ち上げヒル、2段ヒルで一回転、ヤチの迷宮「タリバン」の森、「黒沢」で泥没、最後に「堰のある川」で水没する、というのが大半のシナリオでした。MX1Aが来て絶対には勝てない、と噂されるほどの、難セクションが連続するコース。エントラントの目的は、入賞よりもまず完走。完走メダルを受け取ることが、西日本ライダーのステータスでした。その人気たるや、200名のエントリー枠が2、3日で埋まるほどの盛況ぶり(レースは既に、エントリーから始まってました。当時はウェブエントリーがない為、現金書留をどのタイミングで出すかが勝負の鍵でした)。14回大会には元世界チャンピオン(現KTMワークスチーム監督)、ファビオ・ファビオリも参戦。ワールドクラスの強烈な走りを見せつけたのです。

そして、MMERは長い歴史に幕を閉じました。復活を求める声も根強くありましたが、'09年には芸北美和スキー場自体が完全閉鎖。完全に伝説となってしまいました。

そんな伝説のレース主催者であり、迷宮コースの仕掛け人こそが、「バイカーズベア」の熊本さん。この方が絡んで、新たなレースが始まるという噂が、今年初めからチマタで流れてました。舞台も、とあるスキー場のゲレンデで…。これを聞き、美和世代のライダーが身震いしないはずがないでしょう。あの「逆キャンパー」の復活するのか! そういった期待を一心に背負い、今回レース開催の運びとなった訳です。今回のエントリーは100名ちょうど。当時の半分の数ではあります。初回でこの数とは皆様の期待度が解ります。

新たな幕開けとなった「第1回琴引マウンテンED」、略称「KME」。美和完全復活へのレースとなったのでしょうか。

◆西日本一のウッズ

新たな舞台に選ばれた地は、島根県飯南町(イナンチョウ)のスキー場施設「琴引フォレストパーク」。宿泊施設を初め、キャンプ場、温泉、レストラン、屋内ゲートボール場までも完備する多目的保養施設です。価格もリーズナブル、温泉もワンコイン、宿泊は一泊2食6センエンと、小奇麗な施設で超お得。ピットも舗装上、トイレも超キレイ。憂め過ぎですが、ED大会にモッタナイ位の施設でした。以上、会場は文句ナシ、コースの方は…

用意されたセクションは20余。遠目にコースを眺めると、草原のゲレンデを中心に、周囲の森へとコーステープが伸び、又ゲレンデに戻るというレイアウト。

コースは、ウッズヒル、ウッズキャンパー、ウッズ移動区間、ウッズ斜面を右にターンしながらの撤下りと、ウッズのフルコース。(あと、ゲレンデ8%、ヤチ1%、林道1%って感じデス)。かくして、「西日本一のウッズ」と言われるコースの出現です。天気は秋晴れ、コースも文句ナシ!

10台一組づつのスタートで、200分間レースの幕開けです。勢いよくゲレンデを駆け上がるマシン群、すぐに折り返すとコースは早速「西日本一のウッズ」へ。その先は、最初のセクション「丸太」が待ち構えてます。ウェブ上でも掲載されてた丸太ですが、実際見てみると、太い!! 樹齢かなりのモノですよ、この大木。あまりに立派すぎて跳ね返されたり、勢い余って前転するマシンで周囲は大混乱。コース中盤のセクション、ゲレンデ「タダの逆キャンパーターン」では、ウェット凸凹スルズルで、登りません。ライダーの苦しむ姿に、主催者側はニマリ顔。ウッズだらけのコースは、これまで未走行な場所だらけ。至る所で深い腐葉土にタイヤを取られてしまします。一周目はイージーヒルでも渋滞が目立ちました。

◆勝負の行方は

レース序盤の混乱から抜け出したトップグループは、#3 6「塾長」藤田貴敏フサベルTE250を先頭に、#99水上タイスケKTM250EXCF、#90「5D」前田啓介tm250と、ガイシャ同士のガチンコ対決。周回を重ねるうちに、コース表面の腐葉土が飛んで走行しやすくなると、レースは次第に恐怖の高速度へ。トップグループはさらに勢いを増し、第2グループ以下の引き離しにかかります。リヤブレーキ不調でしたタイスケ選手、途中噛み込んだテープを取り除き再スタート。終始スタンディングの力走で、山嵐のような藤田選手に食いつかれます。紅葉深い山中で繰り広げられたデッドヒートは、最終的にタイスケ選手が逃げ切りってチェッカー。記念すべき第一回優勝者、水上タイスケ選手のヒーローインタビューです。「優勝よりも、塾長に勝ったことが幸せ!」。続いては藤田貴敏選手。序盤から良いペースで周回してましたが、終盤で痛恨のフロントパンク。「だからフロントは、ムースにしとけばよかった」と、愚痴りながら無念の第2位。3位は、終始順位そのままでの完走、前田啓介選手。ハイスピードウッズは得意中の得意、完成された走り全く追いつけません。そして4位、なんで雨が降らないの、苦行のレースでした私め河津。5位は#22柳原タイチ選手。0歳の息子を引っさげて気合いのエントリー、結局私めと足の引っ張り合いでしたけど…。6位、バイカーズベア御曹司の#80熊本ユウタ選手。久々のレースでこの速さ、おそれるべし熊本家。7位、#41助野選手。助p上得意のコースでしたが練習不足でしょうか、反省。8位、#32重村選手。前田選手同様、必ず入賞を果たす中国地区の代表選手です。9位、#43ちばてつ選手。関東代表、日本でGEROの陰には必ず現れます。10位は、#6ナメクラ鍋倉選手。序盤の勢いが続かず失速、名門P-1からぶの意地で10位入賞です。以上の結果でした。

◆伝説のレース

初回開催で、参加者全員にコースを堪能してほしい意図がありましたので、伝説どおり完走率低〜いレースとはなりません。

しかし、誰もが笑顔でチェッカーを受けた、適度な山遊びフルコース。新たなレースの幕開けには、丁度良かったのではないのでしょうか。そして2012年、再び伝説のGEROとなり得るのでしょうか…こうご期待!

REGULATION

- 1 目的
いわゆるゲロ系といわれるタフでハードな走破系レースのみでポイント獲得を競い、その年のNo.1ゲロライダーを決めるものとします。
- 2 競技規則
各主催者の定める競技規則に準じます。
- 3 賞典外選手の扱いについて
各主催レースにおいて賞典外選手が参戦、入賞した場合においてもそれを加味した順位でランキングを決定します。
- 4 ポイントについて
総合順位の完走者、上位20名に下記ポイントを付与します。

1位	25P	2位	22P	3位	20P	4位	18P	5位	16P
6位	15P	7位	14P	8位	13P	9位	12P	10位	11P
11位	10P	12位	9P	13位	8P	14位	7P	15位	6P
16位	5P	17位	4P	18位	3P	19位	2P	20位	1P

※山走り大会においては「エキスパートクラス」の順位をG-NETの対象とします。

※CGC池の平については、ラージヒルSクラスの順位をG-NETの対象とします。

- 5 表彰
獲得ポイントの最多選手を「No.1ゲロライダー」とします。同一ポイントの場合、第1に最高順位、第2に出場回数の多い選手、第3に昨年の参加回数(2011年から適用します)、第4に年齢の高い選手を上位とします。ここまですべて同位である選手については同位と定めます。入賞者、及びシリーズを通じて健闘した選手へは、表彰状及び協賛品を授与します。表彰式は、翌年の第1戦にて行う予定です。

2011 G-NET RANKING

順位	氏名	所在地	マシン	チーム	第1戦	第2戦	第3戦	合計
1	藤田 貴敏	福岡県	フサベルTE250	24サービス	25	20	22	67
2	ちばてつ	埼玉県	KTM	足跡組	22		20	42
3	河津 浩二	福岡県	YZ250F	疾風怒濤		22	15	37
4	本間 徹	兵庫県	YZ250	関西YZ秘密倶楽部定年組	14	15	7	36
5	明石 亨	広島県	KTM	5D		25		25
5	ロッシ	愛知県	ハスク TE250	レアルエキップwithエンジョイス			25	25
7	土井 健	愛知県	KTM200XC-W	チームSNG48	11	12		23
8	坂井 裕輔	長崎県	GAS EC250F		20			20
8	後藤 英樹		GAS EC250F	RT168			20	20
10	熊本 順治	広島県	YZ250F	バイカーズベア		18		18
10	重村 孝司	山口県	KTM250EXC-F	チームシゲムラ	18			18
12	熊本 悠太	広島県	YZ250F	バイカーズベア		16		16
12	菅沼 賢治	愛知県			16			16
12	青木 信次		KTM 150XC	デコボコフレンズ			16	16
15	寺下 正夫	兵庫県	セロー225W怪	ずばあセローの秘密	15			15
15	亀田 友章	愛知県			11		4	15
17	助野 憲一	徳島県	tm125	モチュールジュリースレーシング		14		14
17	jimmy	奈良県	YZ250	BlueWing&jimmytec	14			14
17	森田 洋司	兵庫県			14			14
17	村田 和久		XR230	ちーむ太平洋☆YEC			14	14
21	高下 勝利	鳥取県		バイカーズ ベア		13		13
21	古箭 亨		KTM400EXC	ナカムラモーターwithエンジョイス			13	13
23	宇野 寛	愛知県	ktm200exc	team UNO's			12	12
24	東 隆広	高知県	XR230		11			11
24	上原 正憲	福岡県	バンペーラ		11			11
24	浦田 智揮	福岡県	YZ250F		11			11
24	浦田 肇				11			11
24	金子 岳	愛知県	CR250	エンジョイス	11			11
24	小島 桂志	愛知県			11			11
24	佐伯 桂久				11			11
24	督 実	愛知県	KTM	エンジョイス	11			11
24	早川 剛功	福岡県	KTM125SX	タカキ+ボディクラフト	11			11
24	水上 泰祐	福岡県	KTM125SX	ダートバイクZIMwithBRAINS	11			11
24	柳原 博一	福岡県	KTM250EXC-F	ダートバイクZIM	11			11
24	いろっば		YZ250F	RT168			11	11
36	秋武 徹治		YZ250	MOTOSHOPハシモレーシング			10	10
37	あるみや		TM125E	めか肉はうす			9	9
38	山崎みとも		YZ250	MOTOSHOPハシモレーシング			8	8
39	bigman		KTM300XC-W	OH!風呂ター!!			6	6
40	青木 利夫		YZ250	関西YZ秘密倶楽部&どかつ亭			5	5
41	林 健次		GAS EC250	林道単車会			3	3
42	クローチャン		WR250F	RT168			2	2
43	鍛組の足軽		KTM300XC-W	関西YZ秘密クラブ&鍛組			1	1

熊本は御所オートランド! 2012

今年の御所は、楽しいイベント目白押し。

● **ガールスカップ九州**
9月30日、12月9日 (HSR九州)
なんと20年続く、伝統のサーキットエンデュロレース

● **通潤橋8h耐久ED**
10月14日 恒例の8耐、チームで、お祭り気分どうぞ。

● **JEC JEC山都** 11月24・25日
全国屈指のライダーが御所に集結!



http://www7.ocn.ne.jp/~gosho/ **24サービス**



長い間続けてきましたシリーズ戦「トレールエンデュロ」は、昨年をもって終了しました。皆様、これまで応援ありがとうございました。今年からは、この一戦のみで勝負します!

超特番! サバイバルin広島

5月27日 (梅雨真っ直中の日曜日)

場所: 広島県甲田市 テージャスランチ牧場 TEL0826-45-7070
中国自動車道高田ICから約15分 乗馬やウエスタンライディングが楽しめる観光牧場です。

〒730-0046広島市中区昭和町11-14 info@sptadao.jp

【SP忠男広島】http://www.sptadao.jp/ TEL:082-241-1550 FAX:082-241-1690

【CHUBU GERO CUP 2012】

● サンパティック斑尾ED、WOMEN'S X

5月19~20日 (2DAY) サンパティック斑尾スキー場特設コース
土曜日はスクール、フリー走行、ヒルクライム大会、最高速GP等練習していただき、日曜日はWOMEN'S Xレース、ピンテッククロスレース、ラージヒルクラスレースと2日間遊べるイベントとして開催、2DAYでサンパティックへの宿泊費がセットになっています。女性やギャラリーの方が楽しんでもらえるようなイベントを目指して運営します。

● オールナイトED

8月18~19日 (2DAY) とよねアドベンチャー特設コース
夏の暑い時期は夜走るにかぎる! 夕方スタートで深夜ゴールの夜行性の皆さんにピッタリなレースです。水洗トイレ、水道、完備の快適なコースで夏の夜を過ごしましょう

● いけのだいらゲロゲロさわやかED

11月18日池の平ワンダーランド 特設特設コース
今や伝説の3段ヒルクライムをはじめ走破系ライダーが楽しめるレースとして開催。さわやかクラスはクロスカントリーの楽しさを味わうことが出来て、ゲロゲロクラスは走破する喜びを嫌というほど味わえます



2012 Event Schedule

Motorcycle Shop **ADVENTURE** http://www.nissin.ne.jp/adventure/
〒470-0122 愛知県西加茂郡三好町天王台12-1 TEL 0561-33-1371 / FAX 0561-33-1372



TRvsEDしかしEDの方が圧倒的に有利な気がするのに...



まあ、それぞれにレースの目的があるようです。



素敵な「羊」トロフィー



G-NET番外編

「KECTO」鹿児島エンクロ!

「鹿児島エンデュロクロストーナメント」
平成23年12月4日(日)
鹿児島県薩摩河内市 寺山牧場 photo ko-ta

観客を間近に感じる緊張感、たった一度のミスで勝ち残れない厳しさ、100%以上の力を出し切る達成感、「EDクロス」。最近では各地で盛り上がっていますが、その理由がよく解ります。暖かな陽気が残る12月初旬、鹿児島は薩摩河内市にて開催されました「鹿児島EDクロストーナメント」、略してKECTO。会場となった寺山牧場は、黒牛が放牧されたのどかな牧場。九州TR選手権の会場でもあります。このレース「鹿児島」と付いていますが、この会場以外で開催されることはありません。あくまで、ここ寺山牧場オンリー、地域密着のレースなのです。理由は、ここにEDクロス専用コースが常設されているからです。走行料を払えば、いつでも練習OK。MXのように常設コースで練習して腕を磨く。ニーズがあれば、今後全国的にも常設コースが増えるかも...。その意味では、寺山牧場はEDクロスの先駆者なのかもしれません。

コースを運営しているのは、寺山牧場経営の田上さん。この御方、毎日コースを眺めているだけじゃありません。自らもレースに参加します。しかも息子や従業員までも巻き込む熱の入れよう。レース中も転倒はあたり前、セクションを果敢に攻めていましたよ。

今年で2年目、年に3回開催されてます当大会。主催のKECTO東さん、開催の理由について「スタッフは元々トライアル関係者ばかりです。ですから『田中太一』『成田匠』両選手の活躍を聞き、ここ鹿児島でもそういった雰囲気ED大会が出来ないか、そして、いつか来てくれないか、と考えたのです。又、その活動が実を結ばば、底辺の底上げや、バイクイベント自体への参加者拡充に繋がるのではないだろうか」とのこと。

最近では、世界でやっているスタジアム内のEDクロスも、YouTubeでよく観ますが、ここにはそんな立派なセクションや、総立ちのギャラリーなんて、全くありません。セクションも、ほとんど手作り。見通しの効く会場周辺では、大会関係者の他、地域住民の方が見物にきています。ほんとローカルな大会ですが、レース内容はか

りの白熱ぶり。ライダーは、技術の優劣関係なく、転倒しても一生懸命競い合います。日本中でこんなレースが開催されれば、EDも更に盛り上がっていくのでは、と感じさせられる大会でした。レースは、TR車とED車の混走で行われます。それじゃトラ車有利じゃん、と思いきや、決してそうでもありません。ストレートやコーナーは、圧倒的にED車有利なのです。しかし今回、その「マシン差」をもってしても、やられてしまったのです。

トーナメント方式、1ヒートは5名で勝負を行います。熾烈な予選を勝ち進んだ決勝メンバーの顔ぶれは、まず九州TR界代表のトップライダー、IA西君とIB後藤さんです。続きまして、「奇跡のお父さん」ダートバイクZIM代表水上さん、寺山牧場の息子田上君、TRの新人IB浦田君、そしてお笑い代表私め河津、というメンバー。決勝戦は、序盤からトップが何度も入れ替わるデッドヒートで、ギャラリー的には一番面白い流れでレースが進みます。しかし、最後はやはりIAの意地が占めました。西選手、貴様のチェッカーフラッグ! TR以外の競技は、生まれて初めて出場したという西選手。感想は「めちゃ楽しかった」。このままED界に興味を持つと、面倒くさいんで、当分はこっち側に来ないで下さいよ。

2012G-NETは、3月11日山口下関はフィールド幸楽「山走り大会」から、シリーズ全3戦で開催されます。それでは本年も、GEROなレースでお会いしましょう。G-NET!

☆Bull-Class(ブル・クラス)		
優勝	西 カズアキ選手	GasGas
2位	後藤 研一選手	GasGas
3位	河津 浩二選手	YZ250F
☆Cattle-Class(キャトル・クラス)		
優勝	後藤 正一選手	XR100R
2位	重信 啓介選手	セロー-225W

オフロードブーツ修理の店

このオフロードブーツ修理の店、お気軽に相談ください



ソール張替え		バックルベース交換	
アルパイン純正12500円~	1680円~	本あて補修	2100円~
NOSTOP... 13440円		ホコロビの両面製	ブーツサイズ調整等
FOX純正...13440円			
VIBRAM			
1685 (モトクロスソール)			
1681 (トライアルソール)			
TREX (エンデュロソール)			
13440円		修理代金1万円以上で	送料別! !

560-0052 大阪府豊中市春日町2-1-9
営業時間10:00~19:00
ケンズリペアサービス
TEL 06-6849-1985 http://kenzrepair.com/
Eメール info@kenzrepair.com

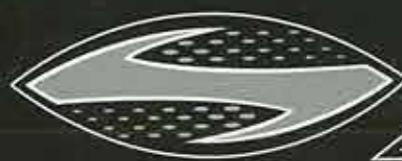
【G-NET事務局】

http://www.gero-net.org/
mail:geronet2010@ybb.ne.jp

- 編集 河津 浩二
- テクニカルスタッフ 山口 タカシ
- 広報 柳原 博一
- 専属カメラマン ヤブー nao
- ミトコ☆ 楽様 ko-ta

- ・冊子「G-NET」では、広告を募集しております。又、各種イベント、レースのスポンサー、協力店も同時に募集中です。
- ・G-NETの活動に御賛同頂ける企業、BikeShop、個人の皆様、是非ご連絡下さい。
- ・この冊子は年一回発行です。来年は...

G-NET 御用達。



SINISALO

泥を愛し、泥に愛されるライダーと共に！通販&出店随時承ります。

得割

当冊子をブースへご持参の方は
出店商品を5%OFFにて
ご購入いただけます。

★クーポンコード★

GNET-05/12

(割引前価格 5,000 円以上の商品にご利用可能)

遊びに来てね~!

「日本で最も美しい村」信州木曾御嶽山麓・開田高原
フィンランド・シニサロモータースポーツ日本代理店

エムシージャパン

MC-Japan

〒397-0302

長野県木曾郡木曾町開田高原西野1683

phone: 0264-44-2990

<http://www.mc-japan.net>

シニサロ

検索

行列が出来る有名店

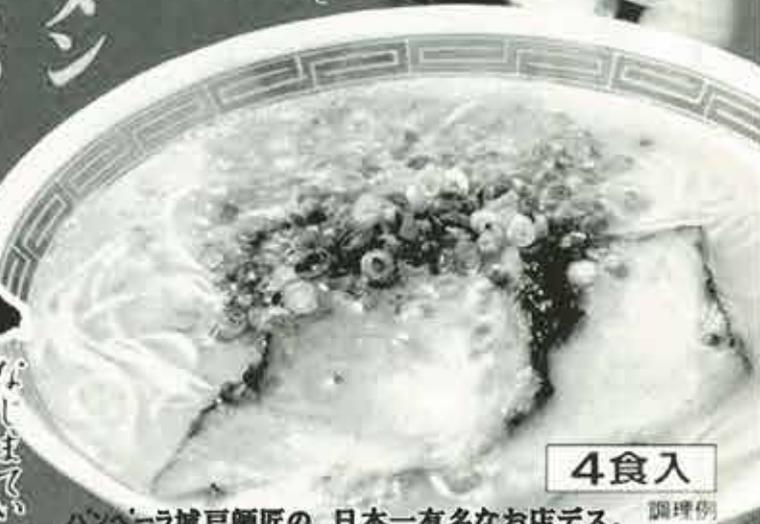
本物の職人は常に旨味の高みを目指す。
言葉にはしない、そんな店主のこだわりが
今日も「名島亭」へ多くの人々の足を向けさせる。
そんな「名島亭」のこだわりの味をご家庭でも
味わえる様、忠実に再現し商品化しました。
是非、御賞味下さい。

名島亭

博多豚骨ラーメン

豚骨ラーメンの本場長浜と久留米で
十二年ものラーメン修業の後
一九八七年に創業。
長浜と久留米が結実した
スープの味は絶妙です。

店主 城戸 修氏



4食入

ハンペーラ城戸師匠の、日本一有名なお店です。調理例

未だ行列の絶えない絶妙な豚骨!

福岡市東区名島2丁目41-7 TEL092-662-3566